同朋大学大学院
入学案内
2025

同朋大学
DOHO UNIVERSITY

人間学研究科
仏教人間学専攻

［仏教文化分野］
博士前期課程・後期課程

［人間福祉分野］
博士前期課程

［臨床心理分野］
博士前期課程・後期課程

DOHO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL ADMISSION GUIDE 2025

沿　革

1826年 文政9年	名古屋東本願寺掛所（現名古屋別院）内に仏教聖典講読を目的とした「閲蔵長屋」を創立
1921年 大正10年	宗門教育の充実をめざし、本学の前身「真宗専門学校」を創設
1930年 昭和5年	真宗専門学校研究科を開設
1950年 昭和25年	東海同朋大学を開学、仏教学部仏教学科を開設
1959年 昭和34年	同朋大学に名称を変更
1961年 昭和36年	仏教学部を文学部に名称変更、社会福祉学科を開設
1964年 昭和39年	文学部に国文学科を開設
1977年 昭和52年	同朋学園仏教文化研究所開設（1992年に同朋大学仏教文化研究所となる）
1985年 昭和60年	社会福祉学部を開設
1986年 昭和61年	別科（仏教専修）を開設
1994年 平成6年	“いのちの教育”センターを開設、文学部を改組
1995年 平成7年	『社会福祉学部・福祉臨床情報センター』を開設
2003年 平成15年	大学院文学研究科修士課程を開設
2004年 平成16年	大学院人間福祉研究科修士課程を開設
2005年 平成17年	大学院文学研究科修士課程を博士前期課程とし、あわせて博士後期課程を開設
2015年 平成27年	大学院人間福祉研究科に、臨床心理学専攻を開設
2020年 令和2年	大学院人間学研究科を開設し、研究科を一本化

ご　挨　拶

同朋大学大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻へのお誘い

同朋大学大学院は2003年に文学研究科（仏教文化専攻）、翌2004年に人間福祉研究科（人間福祉専攻）を開設して始まりました。2015年には人間福祉研究科に臨床心理専攻を設置、2020年に両研究科を再編成のうえ「人間学研究科仏教人間学専攻」として再出発することとなり、前期課程に3分野（仏教文化分野・人間福祉分野・臨床心理分野）、博士後期課程に2分野（仏教文化分野・臨床心理分野）を設けて現在に至っております。

同朋大学の教育・研究の根幹は「教化学」にあります。教化とは人々に広く教えを開くという意味の仏教用語ですが、本学ではこれを、基礎的でありつつ時代に即応し、実践につながる学び、という意味でとらえています。東洋の叡智より「教え」を受け、それぞれの専門研究において社会的実践の理論に「転化」する研究態度、と言っても良いかもしれません。そしてその精神が大学院にも生きています。

人間福祉分野は、人と環境の接点に注目し、暮らしを支えるとはどういうことか、豊かな地域社会を創造するためにはどのような知見が必要かを様々な観点から追求します。現代社会において、福祉専門職が対面する課題は複雑かつ多様化をきわめておりますが、問題の所在を的確に見極め、福祉現場や地域活動での実践をリードするような中核的人材を養成することを目指しています。

臨床心理分野は、人間の心という永遠の課題に向き合いながら、自殺、発達障害、児童虐待、DV、社会的ひきこもりなど、現代の生み出した様々な心の問題に取り組みます。そして、保健医療分野、社会福祉分野、教育分野等における高度な専門性と実践力を備えた心理専門職（臨床心理士・公認心理師）の育成を目標とします。

仏教文化分野は、文献学や資料批判の緻密な方法論をもって、浄土真宗を中心とする仏教文化の諸相に取り組み、思想・歴史・民俗・文化といった様々な視点から「同朋和敬」（共なるいのちを生きる）という本学の建学の精神を探求し、その意義を明らかにします。そして現代社会におけるいのちの課題に実践的に取り組むことのできる宗教者を育てます。

小さなキャンパスと少人数制で、学生ひとりひとりに目の行き届いた教育をモットーとする学部と同様、大学院も一専攻のコンパクトな体制をとりながらも、各分野にバラエティに富む研究者を教員として配置しています。他方、分野横断的な研究と教育が可能な柔軟さも大切にしたいと考えております。大学教育、あるいは社会での経験を踏まえ、より高度な智と実践を身につけようという、意欲に満ちた方々の志願をお待ちしています。

同朋大学学長
大学院人間学研究科長
福田（ふくだ）　琢（たくみ）

CONTENTS

02 人間学研究科 仏教人間学専攻
04 教員および主要担当科目
06 履修例
07 学内研究機関
08 ACCESS
09 学生募集要項
研究計画書（仏教文化分野）
研究計画書（人間福祉分野）
研究計画書（臨床心理分野）
職務経歴書
15 Web出願ガイド

人間学研究科 仏教人間学専攻

高度な専門職・研究者の養成

現代社会の人間を取り巻く諸問題への「仏教人間学（仏教文化・人間福祉・臨床心理）」からの挑戦

本学大学院が取り組む「人間」養成の課題

建学の理念「同朋和敬（共なるいのちを生きる）」を体現する心豊かな人間の養成

仏教人間学専攻（仏教文化分野・人間福祉分野・臨床心理分野）	仏教人間学専攻（仏教文化分野・臨床心理分野）
博士前期課程　募集定員13名（うち臨床心理分野は8名）	博士後期課程　募集定員2名

「いのち」の尊厳を確かめる仏教者の養成

仏教文化分野では、人文学独自の緻密な方法論をもって浄土真宗を中心とする仏教文化の諸相に取り組み、思想・歴史・民俗・文化といった様々な視点から「同朋和敬」（共なるいのちを生きる）という本学の建学の精神を探求し、その意義を明らかにします。そして現代社会におけるいのちの課題に実践的に取り組みます。

福祉現場責任者の再教育・キャリアアップ

人間福祉分野では、高度化が求められる福祉現場の実践をリードする中核人材養成と、ゆたかな地域社会を創造するための地域活動の実践をリードする人材養成を目指しています。現代社会において福祉専門職が対面する課題は複雑で多問題化しています。研究科内の他分野（仏教文化分野・臨床心理分野）の考え方も学び、人が生きること生活を営むことについて考えていきます。

保健医療・福祉・教育領域の臨床心理士・公認心理師および研究者の養成

臨床心理分野では自殺、発達障害、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス（DV）、社会的ひきこもりなど多岐に渡る現代社会の心の問題に対して、仏教文化分野、人間福祉分野、と協働することによって解決の糸口を模索します。そして、保健医療分野、社会福祉分野、教育分野等における高度な専門性と実践力を備えた心理専門職（臨床心理士・公認心理師）の養成を目指します。

取得可能な資格（博士前期課程）

【仏教文化分野】
- 真宗大谷派教師資格（ただし学部科目履修）
- 公益社団法人 大谷保育協会保育心理士（一種）*

【人間福祉分野】
- 公益社団法人 大谷保育協会保育心理士（一種）*
- 認定社会福祉士の申請に必要な単位修得*

【臨床心理分野】
- 公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士受験資格
- 公認心理師 国家試験受験資格※1
- 公益社団法人 大谷保育協会保育心理士（一種）*

※1：臨床心理分野（博士前期課程）入学時に、出身大学が発行する「公認心理師となるために必要な科目」履修証明書を提出できる者。

＊ 幼稚園教諭、保育士、社会福祉士の職に就いている方へ

●公益社団法人 大谷保育協会保育心理士（一種）

修士号の学位取得を前提として、博士前期課程を修了するまでに、保育現場で幼稚園教諭もしくは保育士を有し現場経験5年以上を有する者、または別に定める資格を有し現場経験5年以上を有する者で、所定の科目の単位を取得することで認定します。

●認定社会福祉士の申請に必要な科目の単位修得

ソーシャルワーカーの職能団体の正会員で、社会福祉士取得後の相談援助実務経験5年以上を有し、別に定められた経験目標（経験すべき実務）の実績がある者が、20単位以上の認証された研修を修了し、10単位以上のスーパービジョンを受けることで資格を取得できます。
本学では、認定社会福祉士の資格申請に必要な科目を一部開講しています。これらの科目は、本学大学院生だけでなく、資格取得を目指す学外の方も、「科目等履修生」として受講し、単位修得することができます。

学びのイメージ図

建学の理念 同朋和敬（共なるいのちを生きる）

文学部

【仏教学科】
真宗学専攻
仏教史学専攻

【人文学科】
日本文学専攻
歴史文化専攻
現代文化専攻

学士（文学）

社会福祉学部 社会福祉学科

【心理学専攻】

【社会福祉専攻】
社会福祉コース
介護福祉コース
精神保健福祉コース
福祉教育コース
経済情報行政コース

【子ども学専攻】
幼児教育コース
子ども福祉コース

学士（社会福祉学）

他大学出身者 および 社会人 など

※学内進学選抜制度あり

大学院 人間学研究科仏教人間学専攻 博士前期（修士）課程

〈入学定員13名 ※臨床心理分野は入学定員8名〉

【仏教文化分野】
修士（文学）
「いのち」を尊ぶ
仏教者・研究者の養成

【人間福祉分野】
修士（人間福祉）
福祉専門職の
キャリアアップ教育

【臨床心理分野】
修士（心理学）
臨床心理士・
公認心理師の養成

修了後の進路

進学

就職

教職（中学校・高校）、宗教関係職、公務員、研究職、
社会福祉施設、医療機関、スクールカウンセラーなど

大学院 人間学研究科仏教人間学専攻 博士後期課程

仏教文化分野 博士（文学） ／ 臨床心理分野 博士（文学）

〈入学定員2名〉

研究者・専門職への道

教員および主要担当科目　充実した教授陣

※2024年度 実績

仏教文化分野 研究指導教員 ／ 学長
福田 琢　教授

博士前期(修士)課程 専任教員

	氏　名	学　位	主要担当科目	講義内容
仏教文化分野	織田 顕祐 特任教授	博士(文学)	仏教学特殊研究	漢文文献を用いて専門的研究を進めるための基礎的な文献読解能力を養成する。主として漢訳大乗経典の原典読解に努める。
			研究指導(博士前期課程)	まず、各自の問題意識を明確化するため幅広い視点から対話を進める。その上でその問題を解明するにはどのような仏教的方法論が成り立つのか。この点を直接的な対話と文献研究を通して明確にするよう指導する。
	福田　琢 教授	修士(文学)	仏教学研究	仏教文献を思想史的文脈に即して読解し、文献学の基礎能力を修得する。あわせて近代仏教研究の蓄積に方法論的可能性を学ぶ。
	安藤　弥 教授	博士(文学)	仏教史研究	仏教を歴史的に理解し、現代に活かす力を修得する。仏教史に関する専門的な研究論文や歴史資料の読解力を修得する。日本仏教史を中心にとりあげていくが、時宜に応じてアジア仏教史全体からもテーマを見出す。
	園田 博文 教授	博士(文学)	典籍文化研究	最古の日本語が記された「魏志倭人伝」(『三国志』)から、『古事記』『日本書紀』『万葉集』を経て、大正時代の『羅生門』(芥川龍之介)まで、日本語資料として読解する。
			研究指導(博士前期課程)	文学分野における修士論文執筆の指導を行う。先行研究を読み、問題点を明確にした上で、研究目的、研究方法を明らかにする。
	鶴見　晃 教授	修士(文学)	真宗文化特論	浄土真宗を文化的側面から把握し、歴史的に理解するために、親鸞のひ孫覚如の著である『御伝鈔』を通して、歴史資料の文献解読の能力を養成する。
			研究指導(博士前期課程)	修士論文作成に向け、仏教文献の読解能力を修得するとともに、先行研究を参照しつつ、各自研究テーマに基づく調査・研究を行うことができるよう、研究指導を行う。

	氏　名	学　位	主要担当科目	講義内容
人間福祉分野	下山　久之 教授	博士(社会福祉学)	研究指導(博士前期課程)	自分自身の問題意識を、研究テーマとして形成し、それを解明するための研究手法を選択できるようになる。そして自ら立てた「学問的問い」に対する答えを探求していく。
	北島　信子 教授	修士(教育学)	保育学研究	おもに福祉分野における保育制度、保育内容を学びます。具体的には、子育てをめぐる諸問題、支援事例や特別支援保育の実践記録の検討を通して、幼児の発達と保護者支援の具体的な場面での指導方法、評価方法について考えていきます。
	吉田 みゆき 教授	修士(福祉マネジメント)	精神保健福祉研究	日本における精神保健福祉の歴史から精神障害者がおかれている現状を理解する。そのうえで相談援助職としてどのような支援ができるのか、主にグループワークに焦点を当てて実践的に学ぶ。
	大橋　徹也 教授	博士(社会福祉学)	障害者福祉研究	障害者福祉領域に関する先行研究から、この領域における課題について考察する。さらに、課題解決に求められる科学的な検証について理解を図る。
	工藤　隆治 教授	修士(社会福祉学)	社会福祉政策論研究	日本の福祉国家体制の基盤を踏まえながら、経済と福祉国家の関係、「政策論」、「運動論」、「経営論」という社会福祉理論の体系、「社会福祉の補充性」について、社会福祉政策との関係から講義を展開する。
			地域福祉研究	戦後の地域福祉の理論・主義・歴史を踏まえ、地域包括支援体制(地域包括ケアシステム)に関連する基本的知識、留意点、多職種連携、体制の実現化、グローバル化におけるコミュニティについて考察する。
	汲田 千賀子 教授	博士(社会福祉学)	ソーシャルケア研究	我が国の社会福祉実践が、ソーシャルワークとケアワークという2つから成立してきた背景を学ぶとともに他国の状況を比較しながら、実践課題について考究する。
			研究指導(博士前期課程)	自分自身が興味・関心を持つ課題について、様々な角度から考えディスカッションを重ねながら研究テーマを決める。研究テーマにふさわしい研究方法を用いられるよう、先行研究のレビューを通して学んでいく。
	岩瀬 真寿美 准教授	博士(教育学)	教育学研究	教師の仕事、格差社会における教育、教育と福祉、教育現場の多様化、学力政策、教育と労働、教育改革の歴史、「教育」とは何かといった様々なテーマの教育学研究を読み解くことを通して、教育的事象の追究の方法を学ぶ。
			教育哲学研究	教育の目的、対象、価値について、哲学的に分析することを学ぶ。倫理学、哲学、宗教、社会学、人類学などの知見から教育について考える。キリスト教にルーツのある西欧の思想家の人間観と、大乗仏教の人間観を対照する。

	氏　名	学　位	主要担当科目	講義内容
臨床心理分野	井上　薫 特任教授	修士(文学)	家族心理学特論	家族をシステムとしてとらえ、歴史・発達から見る視点、関係・ 構造からみる視点、機能・コミュニケーションから見る視点を習得する。さらに、家族面接や家族や親族、関係者を招いて行う合同家族面接の方法の基礎を習得する。
			研究指導補助 (博士前期課程)	修士論文の執筆に向けて、研究テーマの設定、研究計画の作成、先行研究のレビュー、調査・実験等の実施、結果の分析、論文の執筆に関する指導を受ける。テーマは、家族支援、福祉領域におけるアセスメントとプラン作りなど、院生と担当教員が相談の上、決定する。
	小沢 日美子 教授	修士(心理学)	発達心理学特論	人間の心が生得的基盤によりながらも、社会的情報に基づき発達させることを、「心の理論」、「視点取得」をキーワードにして講義する。その際、発達の過程に生じる心理社会的な問題を臨床心理学的視点から論考する。
			教育心理学特論	教育という営みの基盤にある学習過程、教育活動における心理現象への理解を進め、教育の場にかかわる課題を発見し、研究デザインを構築する力をつけ、実践力の質を高める。
	石牧 良浩 教授	博士(文学)	臨床心理査定演習	ウェクスラー式知能検査とロールシャッハ・テストを中心に、心理検査の位置づけや実施時の留意点について学び、それらの検査の実施法・解釈法及び検査所見の書き方などを体験的に身につける。
			研究指導(博士前期課程)	入学時の研究計画をもとに、関連する先行研究のレビュー、必要に応じたテーマの再設定、調査・実験の計画と実施、結果の整理・解釈、修士論文の執筆などについての指導を行う。
	鴨澤 あかね 教授	博士(教育学)	心理療法特論	心理療法には精神分析療法、人間性中心療法、認知行動療法等、様々な学派があり、対象も子どもから大人まで、さらには個人、集団、家族と様々である。それらについて基本的な考え方を学ぶとともに、心理療法に共通する基本姿勢を習得する。
			研究指導(博士前期課程)	臨床心理学の中核は実践であることを踏まえ、研究では、それがどのように実践に結びつくかを常に考えながら研究テーマを検討し、修士論文を作成するための指導を行う。
	福島 裕人 准教授	博士(心理学)	臨床心理面接特論Ⅰ	臨床心理士・公認心理師に求められる代表的な心理面接理論およびその技法について、ロールプレイ等を交えながら学ぶ。さらに統合的な視点から、各種理論や技法に共通する心理面接の本質についても検討する。
			研究指導(博士前期課程)	修士論文の執筆に向けて、研究テーマの設定から研究の実施に関する指導を行う。テーマはトラウマケアや学校心理臨床以外でも院生と相談の上、決定する。

博士後期課程 専任教員

	氏　名	学　位	主要担当科目	講義内容
仏教文化分野	織田 顕祐 特任教授	博士(文学)	研究指導(博士後期課程)	修士論文の見直しを進めながら、博士論文への課題を明確化する。その上で、博士課程終了後は一人の自立した研究者となることを目指す。そのために必要な方法論や表現力、学会活動などのスキルが身につくよう指導する。
	福田　琢 教授	修士(文学)		
	安藤　弥 教授	博士(文学)		

	氏　名	学　位	主要担当科目	講義内容
臨床心理分野	石牧 良浩 教授	博士(文学)	研究指導補助(博士後期課程)	修士課程での研究テーマをもとに、博士論文の章立て、学会の専門誌への投稿論文を執筆する。何本かの論文指導を行い、博士論文の完成へとつなげていく。

客員教授

氏　名	所　属	学　位	主要担当科目
目黒 達哉	仁愛大学 特任教授	博士(心理学)	学校臨床心理学特論 臨床心理地域援助特論　等

履修例

仏教文化分野　1年生Aさんの履修例

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3限	13:00～14:30	前期	真宗学研究				
		後期					
4限	14:40～16:10	前期	仏教学特殊研究	特殊演習Ⅰ		仏教学研究	
		後期	仏教文学研究	特殊演習Ⅱ			
5限	16:20～17:50	前期				仏教社会福祉研究	
		後期	仏教史研究	仏教人間学研究Ⅱ			
6限	18:30～20:00	前期				仏教人間学研究Ⅰ	
		後期					
集中講義など			キリスト教神学研究　宗教学研究　実践仏教				

■人間福祉分野、臨床心理分野は6,7限や土曜日に開講している科目が多く、社会人でも学びやすい時間割になっています。

人間福祉分野　1年生Bさんの履修例

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
2限	10:40～12:10	前期						保育心理研究
		後期						アドミニストレーション研究
6限	18:30～20:00	前期	ソーシャルケア研究	保育学研究	特殊演習Ⅰ	仏教人間学研究Ⅰ		
		後期			特殊演習Ⅱ	社会福祉政策論研究		
集中講義など			社会福祉方法論研究　福祉・心理総合支援演習　福祉研究法　認知症ケア研究など					

臨床心理分野　1年生Cさんの履修例

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限	9:00～10:30	前期						学校臨床心理学特論
		後期						臨床心理地域援助特論
2限	10:40～12:10	前期						
		後期						
5限	16:20～17:50	前期			家族心理学特論	心理療法特論	人格心理学特論	
		後期	投映法特論		児童福祉臨床研究	臨床心理学研究法特論	心の健康教育に関する理論と実践	
6限	18:30～20:00	前期	臨床心理査定演習Ⅰ	心理実践実習／臨床心理基礎実習Ⅰ	心理学基礎研究	仏教人間学研究Ⅰ	心理学特殊演習Ⅰ	
		後期		心理実践実習	臨床心理面接特論Ⅱ	精神医学研究	心理学特殊演習Ⅰ	
7限	20:10～21:40	前期		心理実践実習／臨床心理基礎実習Ⅰ	臨床心理面接特論Ⅰ	臨床心理学特論Ⅰ		
		後期		心理実践実習	心理学研究法特論	臨床心理査定演習Ⅱ		
集中講義など			福祉研究法　犯罪心理学特論　障害者(児)心理学特論　産業・労働分野に関する理論と支援の展開など					

※金曜日：心理学特殊演習（隔週開講）
平日の昼間に、2週間程度の学外実習（児童養護施設、学校、精神科病院）があります。

学内研究機関

仏教文化研究所

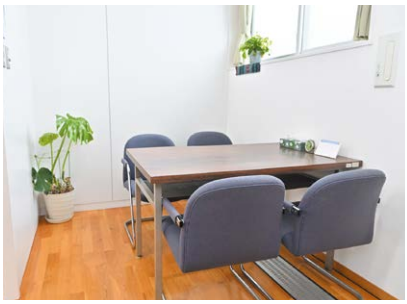
1977年に設立された本研究所は、真宗史・仏教文化研究において国内屈指の専門的な研究機関です。特に全国各地に出向いての現地史料調査、学術出版活動に大きな成果を挙げ、また国内外の研究者・研究機関との学術的交流もしています。

本研究所の活動に関して、大学院生（主に仏教文化分野）には、各研究会への参加、年２回開催の「実物資料に学ぶ仏教文化」展（ギャラリー史料展示）や資料調査・整理などの作業への参加を通して学術・研究活動の経験を積んでもらっています。

"いのちの教育"センター

人間のいのちを問い、その尊厳について、研究し、その成果を広く社会に公開し、地域貢献するために1994年に設立されたセンターです。

連続公開講座の開催や機関紙『BRIDGE』の刊行を通して、「仏教」「福祉」「医療」「文学」「人権」「ボランティア」などと「いのち」の関わりを考え、問いかけていきます。



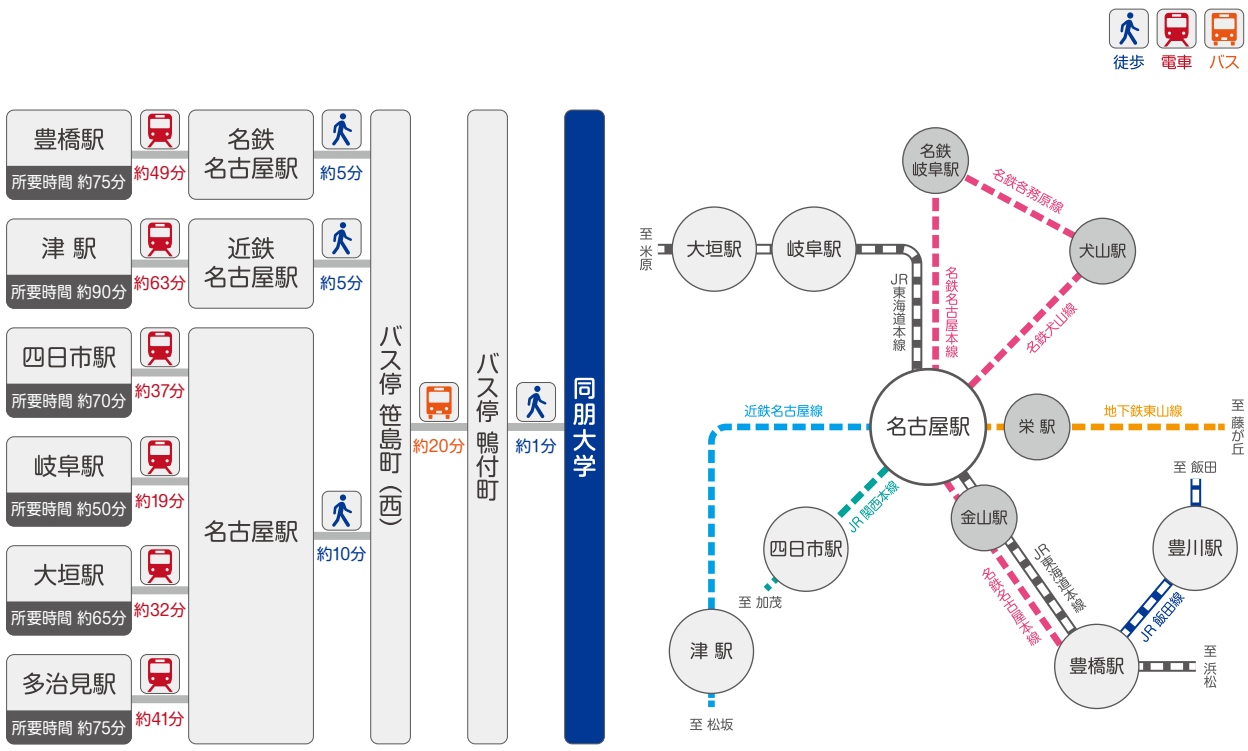
心理臨床センター
～人間性の回復をめざして～

乳幼児期から老年期までの人生において、私たちは様々な困難や戸惑い、悩みに直面し、時には自分自身や家族の力だけでは解決できないような心の問題にぶつかることもあります。

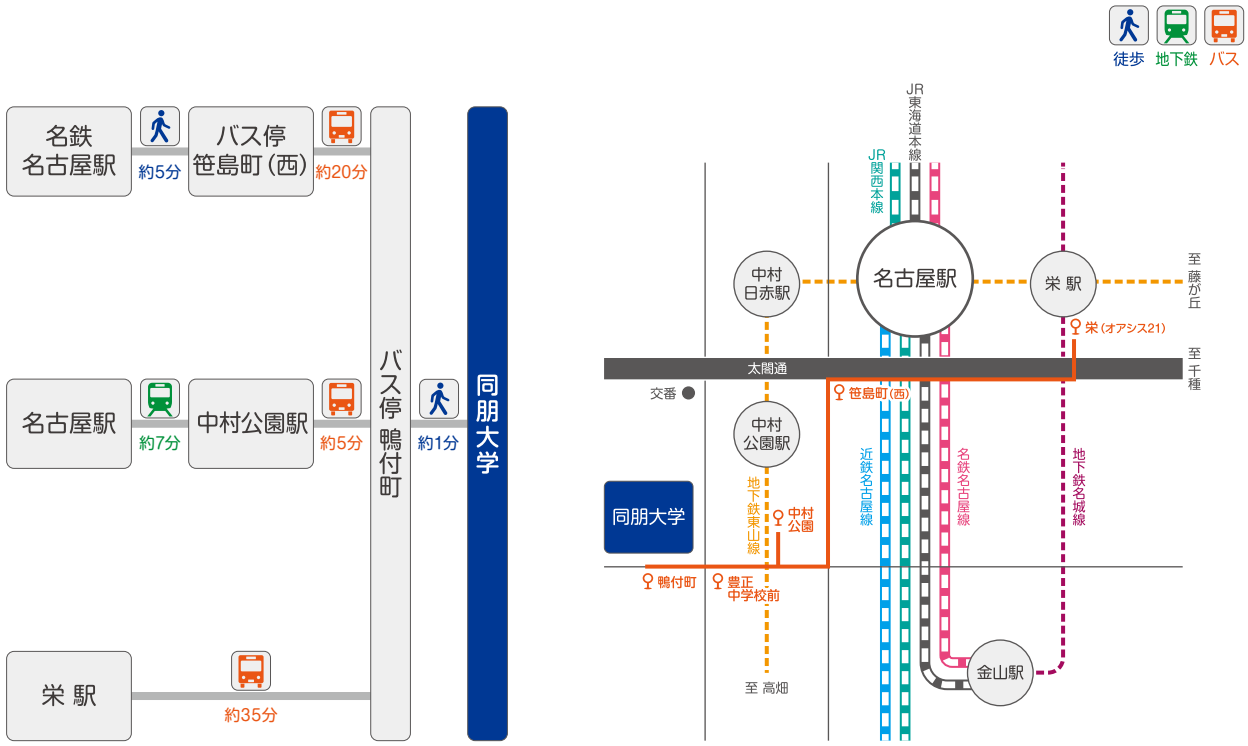
当相談室では、それぞれの問題に応じて、臨床心理士・公認心理師の資格を持つ本学教員と研修生が相談に応じます。

ACCESS

東海地方からのアクセス



名古屋駅からのアクセス



2025年度 同朋大学大学院 学生募集要項

同朋大学大学院 人間学研究科におけるアドミッションポリシー

本学大学院 人間学研究科は、博士前期課程（仏教文化分野・人間福祉分野・臨床心理分野）と博士後期課程（仏教文化分野・臨床心理分野）からなっています。分野ごとに選抜試験を実施し、以下の能力等を有する方を求めています。

〖人間学研究科 博士前期課程〗

1. 当該分野の学士課程を卒業するか、あるいはこれと同等の能力をもち、さらなる研究への強い意欲をもつ方
2. 志望する分野に関する基礎的知識・技能をそなえ、研究課題に対して、論理的思考力によって問題解決に至る能力をもつ方
3. 研究に必要な資料を読解する語学力、理解力、および教員をはじめ他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもつ方
4. 大学院で学び探求し研究したことを、社会に還元していくための熱意・意欲・関心・実践力をもつ方

〖人間学研究科 博士後期課程〗

1. 当該分野の博士前期課程（修士課程）を修了するか、あるいはこれと同等の能力をもち、高度な研究への強い意欲をもつ方
2. 志望する分野に関する専門的知識・技能を修得しており、研究者として研究課題に対して、論理的思考力によって問題解決に至る能力をもつ方
3. 研究者をめざす学生や社会人で、仏教文化・臨床心理についての研究を、主体的かつ総合的に遂行しうる能力をもつ方

人間学研究科 博士前期課程

実施要項

●募集人員

課程	専攻	分野	入学定員
博士前期課程 修業年限２年 在学年限４年以内	仏教人間学専攻	仏教文化分野 人間福祉分野 臨床心理分野	13名 ※臨床心理分野は、入学定員8名

●出願資格

Ⓐ一般選抜（次の事項のいずれかに該当する者）

⑴学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。
⑵学校教育法第104条第4項の規程により学士の学位を授与された者および2025年3月までに授与見込みの者。
⑶外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者。
⑷外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者。
⑸我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当刻外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者。
⑹文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年3月までに修了見込みの者。
⑺文部科学大臣の指定した者。
⑻本大学院によって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月までに22歳に達する者。
※上記⑺⑻により出願しようとする者は、出願開始日の1ヶ月前までに入試・広報センターまで問い合わせること。
⑼日本国籍を有しない者は上記いずれかの条件と下記①②の条件を満たす者、または2025年3月までに該当する見込みの者。
①入学時までに出入国管理および難民認定法における「留学」の在留資格を取得できる者。
②独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」の日本語科目の得点合計が230点以上（記述式の得点は含まない）の者。または「日本語能力試験」N1に合格の者。
※法務省入国管理局による在留資格「留学」に係る審査において、生活費などの経費支弁能力、日本語能力、経歴について厳格な審査が行われます。そのため、本学が入学を許可しても日本国に入国できず、入学できない場合があります。

Ⓑ社会人選抜　上記「Ⓐ一般選抜」出願資格のいずれかに該当し、2年以上の職務経験（週32時間以上の勤務であれば雇用形態は問わない）を有する者。

●日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
1期	2024年9月24日（火）～10月9日（水）【消印有効】 【窓口受付】10月10日（木）10:00～16:00	10月19日（土）	11月1日（金）	一括・一次納入 2024年11月5日（火）～11月14日（木） 二次納入 2024年11月15日（金）～11月22日（金）
2期	2025年1月20日（月）～1月29日（水）【消印有効】 【窓口受付】1月30日（木）10:00～16:00	2月8日（土）	2月14日（金）	一括・一次納入 2025年2月18日（火）～2月27日（木） 二次納入 2025年2月28日（金）～3月7日（金）
3期※	2025年2月10日（月）～3月5日（水）【消印有効】 【窓口受付】3月6日（木）10:00～16:00	3月15日（土）	3月18日（火）	一括納入 2025年3月21日（金）～3月26日（水）

※仏教文化分野、人間福祉分野のみ。入試状況により臨床心理分野も3期を実施する場合があります。
実施する場合は、2025年2月19日(水)より、本学Webサイトにてお知らせいたします。

●試験科目

Ⓐ一般選抜

⑴専門（論文）　60分　100点
⑵英語（辞書持込可）　60分　100点　※ただし電子辞書は不可
⑶口述試験　100点

Ⓑ社会人選抜

⑴専門（論文）　60分　100点
⑵口述試験　100点

●選考方法

上記試験科目と出願書類を総合的に評価します。

●試験当日のスケジュール

9:40までに試験場に入場してください。（開門時間 9：00）

	9:40～10:00	10:00～11:00	11:20～12:20	12:20～13:00	13:00以降、順番に
一般選抜	（諸注意）	専門（論文）	英語	昼食（休憩）	口述試験
社会人選抜	（諸注意）	専門（論文）	口述試験		

●専門（論文）出題形式について

《仏教文化分野》　親鸞および浄土真宗・仏教文化に関する論述試験。

《人間福祉分野》　① 福祉の基礎となる思想・哲学の領域　② 社会福祉の実践・援助方法の領域

③ 社会福祉政策・福祉計画の領域　④ 保育・児童の領域

以上、4領域の中より1問選択

《臨床心理分野》　心理学全般および臨床心理学に関する論文試験。

●試験会場　本学（名古屋市中村区稲葉地町7-1）

本学への自家用車による来場はご遠慮ください。ただし、身体に障がいのある方に限り許可します。

出願手続

出願書類は下記までご提出ください。

〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町7-1　同朋大学 入試・広報センター

TEL：052-411-1247 / FAX：052-411-4124　E-mail：nyushi@doho.ac.jp

●出願書類

【一般選抜出願者、社会人選抜出願者 共通】

①選抜試験志願票（Web出願サイトから印刷してください。）

②卒業（見込）証明書（本学出身者は本学の卒業（見込）証明書は提出不要）※原本

・証明書はすべて日本語で書かれたものを提出してください。日本語で発行できない場合は、日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

③成績証明書（本学出身者は本学の成績証明書は提出不要）※原本

・証明書はすべて日本語で書かれたものを提出してください。日本語で発行できない場合は、日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

・編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。

・大学院修了（見込）者は、学部および大学院それぞれについて提出してください。

④研究計画書（本学所定のもの）

※PC等で作成したものも可。本学公式Webサイト内にPC入力可能なフォーマットがあります。

【社会人選抜出願者のみ提出】

⑤職務経歴書（本学所定のもの）

※PC等で作成したものも可。本学公式Webサイト内にPC入力可能なフォーマットがあります。

●入学検定料

入学検定料　35,000円

※「Web出願ガイド」（P.15～20）の案内に沿って、コンビニ、ペイジー、クレジットカードのいずれかの方法で納入してください。

※一旦納入された検定料は、原則として返還しません。ただし、下記に当たる場合には返還します。

・出願書類の提出前に辞退を申し出た場合（提出後の辞退は認められません。）

・出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により出願が受理されなかった場合

※事務手数料（P.19参照）は、ご本人負担となります。

出願方法・合格発表・入学手続・学納金：P.14に記載する内容を確認ください。

人間学研究科 博士後期課程

実施要項

●募集人員

課程	専攻	分野	入学定員
博士後期課程 修業年限３年 在学年限６年以内	仏教人間学専攻	仏教文化分野 臨床心理分野	２名

●出願資格

Ⓐ一般選抜（次の事項のいずれかに該当する者）

⑴修士の学位または専門職学位を有する者および2025年3月までに授与される見込みの者。
⑵外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月までに授与される見込みの者。
⑶外国の学校が行う通信教育のおける授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
⑷我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
⑸文部科学大臣の指定した者。
⑹本研究科において、個別の入学審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月までに24歳以上に達する者。
上記⑸⑹により出願しようとする者は、出願開始日の1ヶ月前までに入試・広報センターまで問い合わせること。
⑺日本国籍を有しない者は上記いずれかの条件と下記①②の条件を満たす者、または2025年3月までに該当する見込みの者。
①入学時までに出入国管理および難民認定法における「留学」の在留資格を取得できる者。
②独立行政法人日本学生支援機構による「日本留学試験」の日本語科目の得点合計が230点以上（記述式の得点は含まない）の者。または「日本語能力試験」N1に合格の者。
※法務省入国管理局による在留資格「留学」に係る審査において、生活費などの経費支弁能力、日本語能力、経歴について厳格な審査が行われます。そのため、本学が入学を許可しても日本国に入国できず、入学できない場合があります。

Ⓑ社会人選抜

上記「Ⓐ一般選抜」出願資格のいずれかに該当し、2年以上の職務経験（週32時間以上の勤務であれば雇用形態は問わない）を有する者。

●日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
1期	2025年1月20日（月） ～1月29日（水）【消印有効】 【窓口受付】1月30日（木） 10:00～16:00	2月8日（土）	2月14日（金）	一括・一次納入 2025年2月18日（火） ～2月27日（木） 二次納入 2025年2月28日（金） ～3月7日（金）
2期	2025年2月10日（月） ～3月5日（水）【消印有効】 【窓口受付】3月6日（木）10:00～16:00	3月15日（土）	3月18日（火）	一括納入 2025年3月21日（金） ～3月26日（水）

●試験科目

Ⓐ一般選抜・Ⓑ社会人選抜

⑴専門（論文）　60分　100点
⑵英語（※辞書持込可）　60分　100点　※ただし電子辞書は不可
⑶口述試験　100点

●選考方法

上記試験科目と出願書類を総合的に評価します。

●当日のスケジュール

９:40までに試験場に入場してください。（開門時間 9：00）

	9:40～10:00	10:00～11:00	11:20～12:20	12:20～13:00	13:00以降、順番に
科　目	（諸注意）	専門（論文）	英語	昼食（休憩）	口述試験

●試験会場　本学（名古屋市中村区稲葉地町7-1）

本学への自家用車による来場はご遠慮ください。ただし、身体に障がいのある方に限り許可します。

出願手続

出願書類は下記までご提出ください。

〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町7-1　同朋大学 入試・広報センター
TEL：052-411-1247 / FAX：052-411-4124　E-mail：nyushi@doho.ac.jp

●出願書類

【一般選抜出願者、社会人選抜出願者 共通】

①選抜試験志願票（Web出願サイトから印刷してください。）

②卒業（見込）証明書（本学出身者は本学の卒業（見込）証明書は提出不要）※原本

・証明書はすべて日本語で書かれたものを提出してください。日本語で発行できない場合は、日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

③成績証明書（本学出身者は本学の成績証明書は提出不要）※原本

・証明書はすべて日本語で書かれたものを提出してください。日本語で発行できない場合は、日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

④研究計画書（本学所定のもの）

※PC等で作成したものも可。本学公式Webサイト内にPC入力可能なフォーマットがあります。

【社会人選抜出願者のみ提出】

⑤職務経歴書（本学所定のもの）

※PC等で作成したものも可。本学公式Webサイト内にPC入力可能なフォーマットがあります。

●入学検定料

入学検定料　35,000円

※「Web出願ガイド」（P.15～20）の案内に沿って、コンビニ、ペイジー、クレジットカードのいずれかの方法で納入してください。

※一旦納入された検定料は、原則として返還しません。ただし、下記に当たる場合には返還します。

・出願書類の提出前に辞退を申し出た場合（提出後の辞退は認められません。）

・出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により出願が受理されなかった場合

※事務手数料（P.19参照）は、ご本人負担となります。

出願方法・合格発表・入学手続・学納金：P.14に記載する内容を確認ください。

出願方法

⑴出願書類を郵送する場合は、市販の角型2号の封筒にWeb出願サイトからダウンロードした宛名を貼付し、書留速達郵便にて郵送してください。その際「書留郵便物受領書」を必ず受取り、本人が保管してください。
⑵窓口受付の場合は、決められた日時に限り出願書類の提出が可能です。
受付場所：同朋大学 入試・広報センター
⑶窓口受付期日および時間を過ぎた場合は受付けませんので、注意してください。
⑷書類の不備がある場合は受付けません。
⑸文字はボールペンで正確・明瞭に記入してください。
※フリクションなど、文字が消える可能性のあるペンは使用しないでください。
⑹一旦受理された出願書類および出願書類が受理された場合の入学検定料は、いかなる理由においても一切返還いたしません。
⑺振込手数料は、振込人の負担となります。
⑻入学検定料の振込みは、必ず受験する選抜試験の出願期間内に行ってください。
※外国人留学生の場合は、出願書類の他に「外国人留学生募集要項」に定める出願書類の提出が必要です。詳しくは、出願前に入試・広報センターまでお問い合わせください。

受験票の印刷について

各種提出書類の確認を本学がした後に、受験票の印刷をすることができます。書類確認完了のメールを受信したら、Web出願サイトにログオンし、「受験票」欄の 印刷 ボタンより受験票の印刷をおこなってください。
※受験票は当日忘れずに選抜試験会場へ持参してください。

合格発表

⑴合格された方にのみ、「合格通知書（入学手続書類を含む）」を合格発表日に郵送します。合格者は、必ずこの「合格通知書」で確認してください。
⑵各選抜試験合格発表日の9:30から、補助的な手段としてインターネット（パソコン、スマートフォン、携帯電話）を利用した「インターネット合否照会システム」が利用できます。
本学公式Webサイトから「受験生の方」へアクセスするか、下記URLを入力または右のQRコードを読み込んでください。
URL　https://www.doho.ac.jp/examination
インターネット合否照会システム
⑶電話、郵便等による合否の照会には一切応じられません。

入学手続

⑴手続きについての方法・書類は「合格通知書」とともに郵送する「入学手続きについて」を熟読し、指示に従ってください。
⑵学納金を一括納入または、一次納入で入学金、二次納入で授業料等を分納することができます。
※博士前期課程（3期）、博士後期課程（2期）は一括納入のみとなります。
※振込手数料は、振込人の負担となります。
⑶手続きが完了されたことを確認し、「入学許可書」を郵送します。
⑷手続きを期限までに完了しなかった場合、また2025年3月31日（月）までに出願資格に規定される要件を満たさなかった場合は、入学を許可しません。
⑸一旦納入された学納金は、原則返還いたしません。ただし、学納金を納入後、2025年3月31日（月）13時までに入学辞退を申し出た場合に限り、入学金を除いた授業料等を返還いたします。
※振込手数料は、振込人の負担となります。

学納金・奨学金

種　別	分　納		年　額
	入学手続時	後期（９月）	
入　学　金	190,000円	―	190,000円
授　業　料	250,000円	250,000円	500,000円
教育充実費	100,000円	100,000円	200,000円
合　　計	540,000円	350,000円	890,000円

（2025年度予定）

※上記以外の年間諸費用（共育後援会費・同朋学会費）21,500円を納入していただきます。
※修了年次のみ同窓会費25,000円を納入していただきます。
※臨床心理分野は、臨床心理実習費として60,000円を納入していただきます。
※臨床心理分野で「公認心理師となるために必要な科目」を履修する学生は、課程費として20,000円の他、実習のための費用を納入していただきます。
●同朋大学・名古屋音楽大学・名古屋造形大学の卒業生および修了生は入学金を免除します。
●同朋大学の卒業生・修了生の子または兄弟姉妹・配偶者の入学奨学金制度があります。（ただし、入学金が免除の方に関しては対象となりません。詳細は入試・広報センターまでお問い合わせください。）
●同朋大学共育後援会奨学金、同朋大学同窓会奨学金、東本願寺奨学金制度があります。（詳細は入試・広報センターまでお問い合わせください。）

Web出願ガイド

■Web出願から受験当日までの流れ

1 大学Webサイトにアクセス

2 入試案内ページの「Web出願サイトはこちら」をクリック

初めてご利用される方

2回目以降ご利用される方

STEP 1 （P.17）

3 「初めての方はこちら」をクリック

4 志願者基本情報を登録

STEP 2 （P.18）

5 Web出願サイトにログオン

6 写真のアップロード

7 「新規申込手続き」をクリック

8 試　験　の　申　込

選抜試験選択 → 願書情報入力 → 申 込 → 申込結果確認

※各選抜試験の出願期間内にしか申込手続はできません。

STEP 3 （P.19・20）

9 検定料のお支払い

支 払※ → 申込完了

※支払方法は、クレジットカード、コンビニ、ペイジーから選択できます。

10 選抜試験志願票・宛名票を印刷、写真のアップロードがされていない場合は写真〈縦4cm×横3cm〉を貼付

11 出願書類を全て揃えて大学に郵送

※P.11・13の出願書類を確認し、提出漏れが無いようにすること。

12 受 験 票 印 刷

※書類確認完了メール受信後に印刷してください。

13 選抜試験日当日に受験票を持参

■Web出願サイト利用の事前準備

下記の 1 ～ 4 を出願前に準備してください。

1 出願に必要なインターネット環境

端末ごとに、以下の推奨するインターネットブラウザをご利用ください。

パソコン端末	● Google Chrome 最新版　● Microsoft Edge 最新版 ● Mozilla Firefox 最新版 （ブラウザ標準の PDFViewer は推奨環境外です）
スマートフォン タブレット端末	● iPhone/iPad端末　⇒　Safari 最新版 ● Android端末　⇒　Chromeアプリ最新版

※Android端末に内臓されている標準ブラウザでWeb出願システムを利用すると、画面表示や帳票のPDF出力が正常にできない場合がございます。「Chrome」アプリをインストールのうえ、Web出願システムをご利用ください。

2 PDFファイルを開くためのアプリケーション

PDFファイルを表示するには、アドビシステムズ社「Adobe Acrobat Reader」が必要です。端末ごとにインストール（無料）してください。

3 受信可能なメールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo！メールなど）や携帯電話のアドレスでかまいませんが、携帯メールの場合はドメイン「@contact.mescius.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

※記号から始まるメールアドレス、同一の記号が2つ以上連続しているメールアドレス、@の前後に記号があるメールアドレスの場合はアカウント登録ができないため、別のメールアドレスでの登録をお願いいたします。
※メールが届かない場合、「迷惑メールフォルダー」などを確認してください。

4 A4サイズが出力できるプリンター

Web出願サイトにて、「選抜試験志願票」「受験票」「宛名票」を印刷します。
自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストアなどで出力してください。

■Web出願サイトの処理手順

STEP 1 事前登録

※既に志願者情報の登録をされた方、または2回目以降のご利用の方は、STEP 2 から行ってください。

1 Web出願サイトにアクセス

本学のWebサイトにアクセスし、「Web出願サイトはこちら」をクリックします。

スマートフォン、タブレットをご利用の方は、右側のQRコードから直接Web出願サイトにアクセスできます。

同朋大学Web出願サイト
https://lsg.mescius.com/doho-ac/app

2 初めての方はこちら をクリック

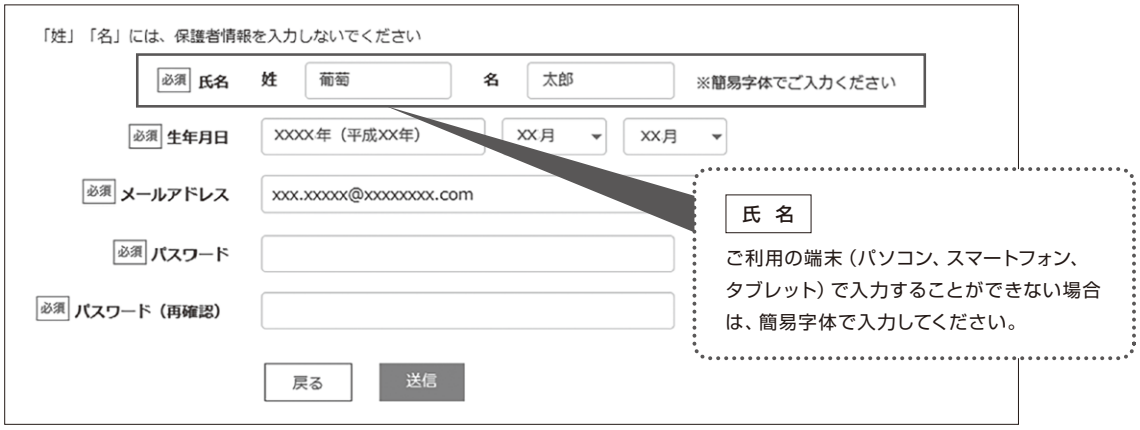
初めて利用される方は、利用規約に同意の上、初めての方はこちら ボタンをクリックします。

※既に志願者情報の登録をされた方は、STEP 2 へお進みいただき、ログオンから行ってください。

3 志願者情報の登録

必要事項を入力し、志願者の基本情報（メールアドレスやパスワードなど）を登録します。

※ご登録されたメールアドレスは、Web出願サイトへのログオンや各申し込み完了後の連絡先メールアドレスになります。
※パスワードは8文字以上で英数字含めたものを設定してください。



4 本登録の完了

志願者情報の登録が完了したら、ご登録いただいたメールアドレス宛に「仮登録完了および本登録のお知らせ」メールが配信されます。メール内に記載されている 本登録完了専用のURL をクリックして本登録を完了させてください。

※本登録のURLは4時間を経過すると無効になりますので、ご注意ください。
※メールが届かない場合、「迷惑メールフォルダー」などを確認してください。

STEP 2 出願情報の登録

1 Web出願サイトにログオン

1

本登録完了後、Web出願サイトにログオンします。
ログオンでは、STEP 1 でご登録いただいたメールアドレスとパスワードを入力します。

2 出願申込履歴

写真管理ボタンより写真のアップロードができます。
（写真を貼付する場合は、この手順は不要です。）
※スマートフォンで撮影したものでも可ですが、顔がよくわかるよう撮影してください。

2 選抜試験の申込手続

※各選抜試験の出願期間内にしか申込手続はできません。

1 申込開始

［出願］アイコンを選択し、
新規申込手続き ボタンをクリックします。

2 選抜試験選択

受験する選抜試験の、申 込 ボタンをクリックします。
※選抜試験区分を選択すると関連した試験が表示され、選択しやすくなります。

3 願書情報入力

志願者情報、保護者情報をそれぞれ入力し、次へ ボタンをクリックします。
※ 一時保存 ボタンで入力中の内容を保存することができます。
※スマートフォンの場合は、次へ をタップすると、自動的に保存されます。
※一時保存では申込は完了していませんので、ご注意ください。

4 申　込

入力した内容に間違いがないことを確認し、
上記内容で申込 ボタンをクリックします。

5 申込結果確認

「申込結果」画面が表示されるので内容を確認してください。
申込内容確認書 ボタンをクリックすると、申込内容の確認書が印刷できます。

STEP 3 入学検定料のお支払い

申し込み内容をご確認の上、「申込結果」画面内に表示される お支払い ボタンをクリックします。
下記のいずれかの決済方法を選択し、画面の指示に従って入学検定料の支払いをしてください。

※決済が完了した後に情報などの修正はできないため、
情報を修正したい場合は、入試・広報センターまでご連絡ください。

入試・広報センター
TEL:052-411-1247

1 クレジットカード

クレジットカード登録と同時に決済となります。
その後の変更はできませんのでご注意ください。
クレジットカードの名義人は受験生本人でなくても
かまいません。

ご利用いただけるクレジットカード

VISA / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club International

2 ペイジー

ペイジー対応金融機関ATM（ペイジーマークが貼ってあるATMが対象）
またはオンラインバンキング／モバイルバンキングにてお支払いを
行います。金融機関窓口でのお支払いはできません。

Pay-easy ペイジー

3 コンビニエンスストア

※下記の操作手順は一部省略されています。実際の画面に従って操作してください。

セブンイレブン	ファミリーマート	ローソン／ミニストップ	セイコーマート	デイリーヤマザキ／ヤマザキデイリーストアー
「払込票」を印刷 または Web画面に表示された「払込票番号」	Web画面に表示された「第1番号（企業コード）」「第2番号（注文番号12桁）」	Web画面に表示された「受付番号」	Web画面に表示された「受付番号」	Web画面に表示された「オンライン決済番号」
	Famiポート	Loppi（ロッピー）	クラブステーション	
	「代金支払い」ボタンを押す	「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す	「インターネット受付」ボタンを押す	
	「収納票発行」ボタンを押す			
	第1番号（企業コード）を入力	「受付番号」を入力	「受付番号」を入力	
	第2番号（注文番号12桁）を入力			
	「Famiポート申込券」発券	「申込券」発券	「申込券」発券	
印刷した「払込票」をレジへ渡すまたはレジで番号をお知らせください。	発券から30分以内にレジへ	発券から30分以内にレジへ	発券から30分以内にレジへ	レジで番号をお知らせください

※領収書等は個人控えですので大切に保管してください（提出不要）

4 事務手数料一覧表

※全ての支払い方法に対して、入学検定料の他に事務手数料がかかります。事務手数料はご本人負担となります。
（下記の事務手数料一覧表を参照）

決済金額	¥5,000	¥10,000	¥15,000	¥20,000	¥25,000	¥30,000	¥35,000	¥40,000	¥45,000	¥50,000	¥55,000	¥60,000
クレジットカード	¥165	¥315	¥465	¥600	¥725	¥750	¥990	¥1,215	¥1,365	¥1,515	¥1,815	¥1,815
ペイジー・コンビニ	¥330	¥440	¥440	¥440	¥440	¥440	¥440	¥440	¥440	¥660	¥660	¥660

⑤ 選抜試験志願票・宛名票の印刷

お支払いが完了したら、決済完了メールが届きます。メールを受信した後に再度ログオンし、印刷をします。

- 印刷書類＝選抜試験志願票・宛名票
- 用紙サイズ＝A4

※写真がアップロードされていない場合は、印刷した選抜試験志願票の写真欄に写真〈縦4cm×横3cm〉を貼付してください。

⑥ 出願書類の郵送

・P.11・13の出願書類を確認し、提出漏れのないようにしてください。
・市販の角2封筒を用意し、印刷した宛名票を貼付し、**書留速達**で郵送してください。
・複数の出願書類を同時に送るときは、どれか一つ宛名票を使用してください。

受験票の印刷について

各種提出書類の確認を本学がした後、試験日の3日前までを目途に、受験票の印刷ができるようになります。書類確認完了のメールを受信したら、Web出願サイトにログオンし、「受験票」欄の 印 刷 ボタンより受験票の印刷を行ってください。

※受験票は当日忘れずに選抜試験会場へ持参してください。

Web出願 Q&A

Q パスワードを忘れたのですが、どうすればよいですか？

A Web出願サイトのログオン画面で パスワードを忘れた場合はこちらへ をクリックし、メールアドレスを入力します。 パスワードの再設定を行う ボタンをクリックした後に、入力されたメールアドレス宛にパスワードリセットの案内メールが送信されるので、送信されたメール内のURLをクリックして［パスワード］［パスワード（再確認）］を入力し、 再設定 ボタンをクリックします。新たに設定したパスワードでWeb出願サイトにログオンしてください。

Q 旧字体等の正しい漢字が登録できません。

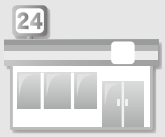
A 旧字体等で正しく変換・入力できない場合は、代替の文字を入力してください。代替文字を使用した場合には、印刷した［選抜試験志願票］［受験票］の該当箇所を赤字で正しい漢字に訂正してください。

Q 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A 入学検定料の支払方法を確定するまでは修正が可能ですが、支払い完了後の修正はできません。情報を修正したい場合は、本学までお問合せください。

Q 自宅にプリンターがありませんが出願できますか？

A 可能です。自宅にプリンターがない場合は、コンビニでの印刷となります。各コンビニで指定されているアプリをお持ちのスマートフォンにインストールし、アプリ内にPDFの書類を保存します。その上で、コンビニにて印刷を行ってください。



2025年度　研究計画書

どちらかに○を付けてください。

	博士前期課程
	博士後期課程

同朋大学大学院　人間学研究科　仏教人間学専攻 **仏教文化分野**

		受験番号	※
フリガナ 氏　名		男・女	年　　月　　日生 （西暦）

①研究テーマ

②研究分野

③研究目的

④研究の計画・方法

※印は記入しないでください。

（裏面へ）

※Webサイトに PC作成可能なファイルを掲載しています。

用紙が不足する場合はコピーして使用してください。

2025年度　研究計画書

同朋大学大学院　人間学研究科　仏教人間学専攻 **人間福祉分野**

		受験番号	※
フリガナ 氏　名		男・女	年　　月　　日生 （西暦）

①研究テーマ

②研究分野

③研究目的

④研究の計画・方法

※印は記入しないでください。

（裏面へ）

※Webサイトに PC作成可能なファイルを掲載しています。

用紙が不足する場合はコピーして使用してください。

2025年度　研究計画書

どちらかに○を付けてください。

	博士前期課程
	博士後期課程

同朋大学大学院　人間学研究科　仏教人間学専攻 **臨床心理分野**

		受験番号	※
フリガナ 氏　名		男・女	年　　月　　日生 （西暦）

①研究テーマ

②研究分野

③研究目的

④研究の計画・方法

※印は記入しないでください。

（裏面へ）

※Webサイトに PC作成可能なファイルを掲載しています。

⑤博士前期課程修了後、どのような公認心理師／臨床心理士を目指すか、記入してください。（※博士前期課程のみ記入）

用紙が不足する場合はコピーして使用してください。

（＊社会人選抜出願者のみ提出）

職 務 経 歴 書

同朋大学大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻

選抜試験区分	1）博士前期課程 2）博士後期課程	1）仏教文化分野 2）人間福祉分野 3）臨床心理分野	受験番号	※
フリガナ 氏　名			男・女	年　月　日生 （西暦）

職　歴

年月（西暦） ～	勤務先・職種	正規・非正規別	一週間の勤務時間
年　月～　年　月			
～			
～			
～			
～			

職務上の実績・研究活動等

希望する研究テーマに関連すると思われる職務上の実践、研究活動があれば具体的に書いてください。

※印は記入しないでください。

（裏面へ）

※Webサイトに PC作成可能なファイルを掲載しています。

職務上の実践・研究活動等の印刷された実績（実績のない場合は提出不要）

著作、実践レポート、調査報告書、学術雑誌、紀要等への投稿、学会等での発表抄録（抄録集に掲載されたもの）等、職務上の実践・研究活動に基づく印刷された実績がある場合には、主なものを下欄に記し、そのコピー（現物、抜刷でも可）を添付してください。（３点以内）
提出されたものは、後日返却いたします。

記入の際には、以下の例を参考にしてください。

・著作の場合

著作名（出版年）「論文名」（編者名『書名』）出版社名　論文開始ページ－論文末ページ
（例）山田〇子（1999）「〇〇に関する研究－△△調査から－」（田中〇〇編、『社会福祉の〇〇』）〇〇出版　109-111

・雑誌論文の場合

著者名（出版年）「論文名」『掲載雑誌（もしくは紀要等）巻（号）論文開始ページ－論文末ページ
（例）山田〇男、上田△△（2006）「〇〇に関する研究－△△調査から－」『〇〇センター紀要』42(2)109-111

・学会（研究会）発表抄録の場合

著者名　発行年「発表タイトル」『学会発表抄録集名』ページ
（例）山田〇美（2006）「〇〇における研究－△△を保障する実践」『日本〇〇研究会第５回全国大会抄録集』135

同朋大学　課程一覧

大学院

博士前期課程

人間学研究科 仏教人間学専攻
　仏教文化分野
　人間福祉分野
　臨床心理分野

博士後期課程

人間学研究科 仏教人間学専攻
　仏教文化分野
　臨床心理分野

学部

学士課程

文学部
　仏教学科・人文学科
社会福祉学部 社会福祉学科
　心理学専攻・社会福祉専攻・子ども学専攻

同朋大学
DOHO UNIVERSITY

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1
TEL 052-411-1247（入試・広報センター）
E-mail nyushi@doho.ac.jp
https://www.doho.ac.jp/